

テーマ：『わたしたちと動物の暮らしのつながりを考える』

- 絶滅の危機にある野生動物の状況を知り、世界のさまざまな問題に気付く
- 生物多様性や生命を支える環境について学ぶ
- 自分の生活や身近なモノが動物の暮らす環境に関わりがあることに気付き、自らができることとして環境問題を考える
- 到津の森公園が地域と協力して、命を守り、育む活動を実施していることを知り、地域の活動に関心を持つ
- 地域について学ぶことを通して、シビックプライドを育む

## 学習の展開

- 人の暮らし～暮らしやすいとは～（導入）【解説①】
  - ・児童自身の生活を認識してもらう。
  - ・自分（人）がくらししていくために必要なものはなんだろう？
  - ※動物見学の前におこなうと効果的です。
- 動物の暮らしを知る【解説②】
  - ・園内をまわり動物たちを観察し、どうぶつの暮らしについて考える
  - ・動物の種類によって、くらしはさまざまで、大きく異なります。
  - ※動物園と併せて地域のいきものについて調べてみるのも良いでしょう。
- 人と動物の暮らしを見比べる【解説③】
  - ・それぞれのくらしに必要なものに同じものやつながりのあるものはあるかに注目する
  - ・動物と人の関わりに気づく。
- 動物の暮らしを考える【解説④】
  - ・視点を「自分」から「動物」へ変える。
  - ・都市と自然のバランスについて考える。
- 動物の暮らしを守るためにあなたができることは？【解説⑤】
  - ・環境問題を「自分事」にする。
  - ・動物だけでなく人にとっても良いくらしを考える（SDGs）
  - ・一例として、動物園の「守る」仕事について知る。

解説 ① 暮らしやすいってどういうこと？

「暮らしやすい」とはということ考えることで、まずは児童自身の生活を見つめなおす時間にします。正解はありません。

例えば、安全、便利、自然がある、友だちがいる、空気がきれいなど

「暮らしやすさ」や「生きるために必要なもの」を考えることで、自分たちの生活も環境に支えられていることに気づくことが目的です。この問いは後の「動物の暮らし」を考えるための土台になります。自分のくらしを具体的にイメージできていると、動物のくらしも「他人事」でなく「自分ごと」として考えやすくなります。児童同士でも意見を比べてみると良いでしょう。

解説 ② 動物の暮らしを調べてみよう！

動物種によってくらしはさまざま大きく異なります。注目したい動物を選んで観察することをおすすめします。

解説 ③ 見比べてみよう

違いを探すのではなく、同じ点やつながりを見つけることが目的です。

人と動物に必要なものを並べてみることで、人の暮らしは動物のくらしとつながっているという理解につながります。

解説 ④ 動物にとっての環境

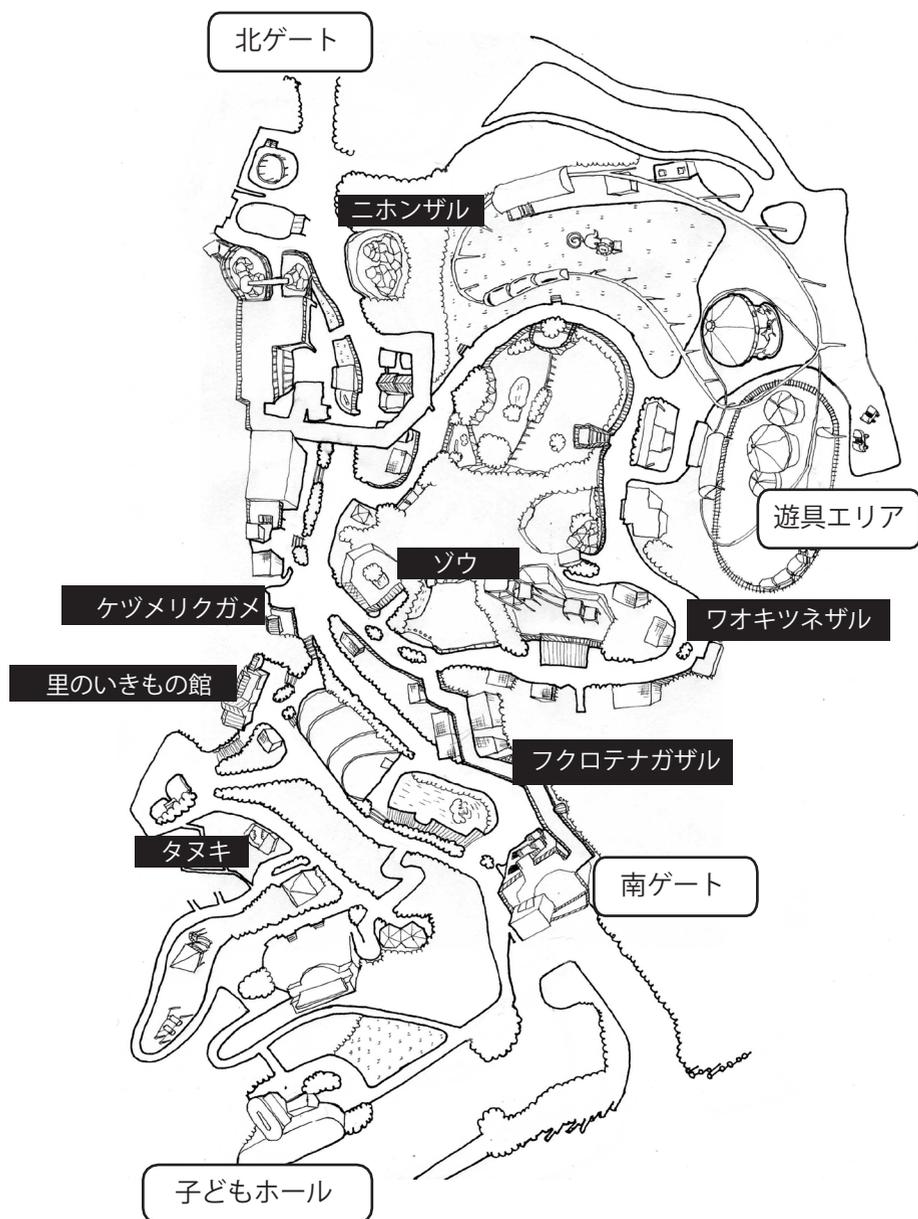
視点を「自分」から「動物」に転換する問いです。

人にとって便利な環境が必ずしも動物にとっても良いとは限らないことに気づくことがねらいです。自分のくらし町の地域環境を多面的に見てみましょう

解説 ⑤ 動物の暮らしを守るためにできること

学習を行動につなげるための問いです。動物園の動物たちのなかには「絶滅危惧種」も多くいます。環境問題を遠い話題にせず「自分にもできることがある」という実感を持たせることが目的です。人と動物のくらしはつながっています。ひとりひとりの心がけが大切です。みんなのできる大きなことだけでなく、自分でもできる日常生活の中の小さな行動も考えてみましょう。

## おすすめ動物マップ



## 観察のポイント

園内の解説看板や動物の運動場などの飼育環境のなかにはくらしを考えるヒントがあります。例えば次の①～⑤に着目し、生活の様子を具体的に観察してみましょう。

- ①食べ物 動物はなにを食べていますか？  
植物？ほかの動物？その食べ物が育つには何が必要でしょうか？
- ②すみか 特定の地域にしかくらししていない「固有種」もいます。  
その動物はどこ国にすんでいますか？あたたかい場所？寒い場所？  
すみかはどんな様子ですか？森？草原？水辺？
- ③体のつくりと動き  
その動物の体はどんな形をしていますか？その体でどんな動きをしていますか？生きる工夫が隠されているかも！
- ④仲間 その動物は群れでくらしませんか？それとも単独？
- ⑤生息数 ある種類の動物が、この世界から一頭もいなくなってしまうことを「絶滅」まだいなくなっていないけど、数がへり、絶滅しそうになっている生き物を「絶滅危惧種」といいます。  
その動物は数をへらしているでしょうか？

### 動物のくらしを守るために動物園がしていること

動物園には4つの役割があります。この役割を通して「守る」につなげています。

- ①レクリエーション (楽しむ)  
：来園者が動物園でまずは楽しみ、動物に親しんでもらう。
- ②種の保存 (命をつなぐ)  
：絶滅の恐れのある動物の飼育管理や繁殖に取り組み、命を未来へつなぐ。  
野生動物を守るための手助けになります。
- ③調査・研究 (調べる)  
：動物やそのくらしについてより深く知るためや、野生でのよりよい保全活動に生かすために、動物の行動や健康管理などを記録して、調べています。
- ④教育 (学ぶ場づくり)  
：動物園をみてもらうことで動物やそのくらし、現状についてより深く知ってもらい、社会全体で守る力を育てる。イベントやガイド、紹介の看板作りや、学校への教育プログラムの実施など、来園者にむけてさまざまな活動をおこなっています。

### しつもん①

ここ北九州はあなたにとって、くらしやすい場所ですか？  
○をつけましょう

くらしやすい ・ くらしにくい ・ わからない

★なぜそう思ったのか理由を書いてみましょう

.....  
.....  
.....  
.....

### しつもん②

あなたがくらすために必要なものはなんですか？  
必要だと思うものをたくさん書いてみよう。

.....  
.....  
.....  
.....



### しつもん③

あなたの好きな動物はなんですか？  
(好きな動物がいなかったら到津の森公園で一番気になった動物)

### しつもん④

あなたの好きな動物がくらすために必要なものは何だと思いますか？  
必要だと思うものをたくさん書いてみよう。

★考えるヒント

- ・どんな場所にすんでいる？その場所にはなにがある？
- ・なにをたべる？いつ活動する？ など

.....  
.....  
.....  
.....



### 見比べてみよう

動物とあなたのくらしに必要なもの(②と④)には、同じものや  
つながりがありそうなものがありましたか？

あった ・ なかった

★「あった」をえらんだ人は②と④のつながりがあるものを線でつないでみよう

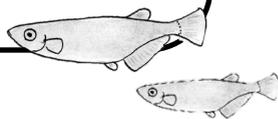
## しつもん⑤

北九州にもさまざまな動物たちがくらしています。北九州は動物にとって、くらしやすい場所だと思いますか？  
○をつけましょう。

くらしやすい ・ くらしにくい ・ わからない

★なぜそう思ったのか理由を書いてみましょう

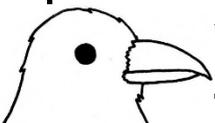
Handwriting practice area for the first question, consisting of a large rounded rectangle with horizontal dashed lines for writing.



## 考えてみよう

動物のくらしを守るために、あなたができることはなんだろう？

Handwriting practice area for the second question, consisting of a large rounded rectangle with horizontal dashed lines for writing.



## 心にのこったことを書きましょう

Handwriting practice area for the final section, consisting of multiple horizontal dashed lines for writing.